

当院に急性冠症候群で救急搬送されカテーテル検査・治療を

受けられた方およびそのご家族の方へ

— 「オンコール帯における救急外来と IVR センターの連携強化が ACS 患者の救急外来滞在時間に与える影響」 へご協力をお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信

研究責任者：岡山大学病院 救命救急科 野島 剛

1) 研究の背景および目的

急性冠症候群は、治療が遅れると回復に影響します。そのため、救急外来到着から早期に心臓カテーテル検査・治療を行う必要があります。しかし、日本では夜間・休日に搬送された方のカテーテル治療開始が平日と比べ遅延している傾向にあることが明らかになっています。2025 年度から当院では救急外来看護師と IVR センター（カテーテル治療室）看護師の連携を強化しました。この研究では、急性冠症候群で救急搬送されカテーテル検査・治療を行った患者さんの診療記録を振り返り、夜間・休日の救急外来と IVR センターの連携強化が救急外来滞在時間に与えているかを明らかにすることを目的に行います。これにより、患者さんが早期に治療を受けられるような体制の構築に役立つ可能性があります。

2) 研究対象者

2024 年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）および 2025 年度（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）に当院へ救急搬送され、ACS 疑いで緊急カテが必要と判断され、オンコール帯に救急外来から IVR センターへ搬入した、18 歳以上（治療時）の方 70 名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2027 年 3 月 31 日

情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可日から 1 週間後

4) 研究方法

電子カルテから治療経過に関する情報を集め、救急外来滞在時間を後方視的に検討します。この研究のために新たな検査や治療を行うことは一切ありません。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・研究対象者の基本情報：年齢、性別、既往歴、合併症、転帰
- ・各プロセス時間：救急外来到着時間、救急外来退出時間、IVR センター入室時間、再灌流開始時間、オンコール看護師出勤時間

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院 IVR センター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 二次利用

この研究で得られた情報を将来別の研究に用いる可能性はありません。

8) 研究資金と利益相反

この研究の実施に際しては特段の費用を要しないため特定の研究資金は用いません。また、利益相反はなく、その点を利益相反マネジメント委員会に申告します。

9) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 看護部（放射線部・救急外来）

氏名：片山 桃花

電話：086-235-7712（平日：9時～16時）